

仕様

高電圧発生装置	方式	高周波インバータ方式
	定格出力	20kW
	最大管電流	250mA@80kV, 160mA@125kV
	kV, mA設定範囲	40~125kV, 10~250mA
	X線照射時間	0.004~10.00S (撮影条件による)
	アナトミカル・プログラム	計204通り
	自己診断機能	可能
X線管装置	陽極	回転陽極方式
	最大陽極熱容量	100kJ (140kHU)
	焦点の呼び	小焦点：1.0, 大焦点：2.0
チューブアセンブリ および支柱	方式	床面レール方式
	前後動ストローク	885mm
	上下動ストローク	1,050mm
	管球回転角度	±180°
入力	入力電源	単相交流 200V
	最大入力電力	30kVA(最大X線出力時)
	最大入力電流	150A(最大X線出力時)
	待機時電力	150VA
撮影テーブル	天板サイズ (w×d)	W1,800×D720mm
	グリッド	10:1, 40本/cm
	グリッド焦点距離	100cm
	カセットサイズ	6×8 (六つ切り) ~14×17 (半切)
	支柱・カセット連動	可能
構成		チューブアセンブリ (X線可動絞りを含む)
		支柱 (アーム部を含む)
		撮影テーブル (ブッキー装置付き)
		コリメーター
		高電圧発生装置
		X線操作部